

皮膚科のトリビア

200

浅井 俊弥(浅井皮膚科クリニック)

<http://www.asai-hihuka.com/trivia.html>

トリビア(trivia)=3を意味するtriと+道を意味するviaでもとは三叉路の意。古代ローマで三叉路が多かったことから「どこにでもある場所」,そこから転じて「瑣末なこと」となり,今では雑学的知識,豆知識,などを意味する言葉として定着している。

本欄は,小誌・浅井編集委員が学会・研究会などで見聞きした「皮膚科のトリビア」をその都度まとめ,連載しています。ご意見等ございましたら,ぜひ小誌「声」欄までお寄せください。

●第895回日本皮膚科学会東京地方会から

令和3年2月20日

toe web infection

趾間が浸軟し,びらんや潰瘍を生じる病態をtoe web infectionと呼ぶ。多汗と慢性の趾間型足白癬を基盤として生じる,緑膿菌などのグラム陰性菌感染症である。

イスラエルの大規模疫学調査では年齢の中央値は51歳,3:1で男性に多く,合併症として糖尿病,脂質代謝異常症,虚血性心疾患,高血圧があり,71%が喫煙者で,47%が密閉した靴を履く職業であった。33%が感染を繰り返し,20%が蜂窩織炎を生じていた。糖尿病と喫煙が疾患のリスクファクターである。

一言コメント

「喫煙習慣との関連がある理由の考察があるとよかった。たびたび経験するが,趾間がもともと狭い,あるいは狭くなってしまったという形態的な特徴があるように感じている。ちなみに“web”には水鳥の水かきという意味があると知った。」

●第895回日本皮膚科学会東京地方会から

令和3年2月20日

後天性血友病のスクリーニング検査と診断

水疱性類天疱瘡のステロイド内服治療中に出血傾向が出現し,後天性血友病Aと診断した症例の報

告。後天性血友病の基礎疾患として,10%ほどにSLEなどの自己免疫性疾患,同程度に胃癌,大腸癌などの固形癌を認める。妊娠を契機に発症する症例もある。紫斑,溢血斑などの出血傾向のある症例のスクリーニング検査では,出血時間,血小板数,PTが正常で,APTT延長のみが認められる。

鑑別すべき病態として,内因系凝固因子の先天的欠乏やループスアンチコアグラント(lupus anticoagulant:LA)の存在を考える。確定診断には第VIII因子活性(FVIII:C)の低下,第VIII因子インヒビター陽性を確認する。

一言コメント

「高齢者に多いことから,加齢も原因の一つらしい。凝固系の検査結果の解釈をもう一度確認しておこうと思った。」

●第895回日本皮膚科学会東京地方会から

令和3年2月20日

ステロイド外用薬の分類と交叉反応

ステロイド外用薬は構造上,以下のように分類される。①C16メチル基なし&多くはハロゲン化なし,②C16/17 cis ketal doil構造&ハロゲン元素あり,③C16メチル基あり&通常ハロゲン元素あり。以前は①はAとD2,②はB,③はCとD1に分類されていた。Aにはプレドニン®,D2にはロコイド®,リドメックス,マイザー®,Bにはトプシム®,ケナコルト-A®,Cにはネリゾナ®,D1にはアンテベート®,フルメタ®,メサデルム®などがある。

パッチテストで陽性になる頻度の高いものは、D2に分類されるものが多く、交叉感作も認められる。

一言コメント

「あまり浸透していない分類で覚えにくいですが、アレルギー性接触皮膚炎の原因になった場合には当然ながら考慮しなければならない。」

●第895回日本皮膚科学会東京地方会から 令和3年2月20日

経産道感染以外の新生児HSV感染症

日齢8日の女児、発熱、呼吸不全、全身の小水疱が出現。HSV抗原陽性。母親の陰部ヘルペスはなし。ただし乳房に病変があって、経産道感染ではなく、水平感染と診断した。

新生児ヘルペスの70%は経産道感染だが、15%は子宮内感染、15%は乳房ヘルペス、ヘルペス性瘰癧などの水平感染である。

一言コメント

「陰部ヘルペス以外でも新生児ヘルペスの感染源になるということだったが、口唇ヘルペスからの水平感染はほとんどないようだ。貴重な症例であった。」

●神奈川県皮膚科医会第162回例会から 令和3年3月7日

汗疹の病理と熱帯性無汗性無力症

汗疹の後に無汗を生じることが知られている。病理組織学的に、無構造物が汗孔を閉塞している状態が観察されることがある。皮表の余剰な汗が汗孔で固まり、発汗障害をきたすと考えられる。

熱帯性無汗性無力症という疾患があり、暑熱環境で体幹に鳥肌状の丘疹が生じ、全身倦怠感を伴う。丘疹の病理組織は汗疹と同様であり、無汗による全身症状をきたすことになる。

一言コメント

「そういった無汗症があるとは知らなかった。全身

症状を伴うコリン性蕁麻疹の鑑別疾患になるのだろう。覚えておこう。」

●神奈川県皮膚科医会第162回例会から 令和3年3月7日

汗をかくと痛痒くなる状態には dermcidin が関与する

汗をかいた後に痛痒いと感じる疾患にアトピー性皮膚炎、コリン性蕁麻疹がある。ヒトのエクリン汗腺に発現する抗菌ペプチドのdermcidinは、健常であれば汗腺、汗管内にとどまるのだが、この2つの疾患では免疫組織学的に、dermcidinが汗腺の外にも局在していて、痛痒い感覚の原因と考えられる。

一言コメント

「きれいな酵素抗体法の病理組織だった。面白くてわかりやすいアプローチだった。」

●某製薬会社Web講演会から 令和3年3月12日

尿酸結晶があると乾癬が増悪する

乾癬患者にはメタボリック症候群が多いことが知られていて、血清尿酸値も健常人に比べて高い。乾癬表皮のターンオーバー亢進で尿酸が産生される、尿酸結晶自体がNod-like receptorファミリーに属するNLRP3を活性化し、IL-1、IL-18などの炎症性サイトカインの産生を誘導する、培養表皮細胞に尿酸結晶を加えると、表皮細胞からTNF- α 、IL-1 α 、IL-8などのサイトカインが誘導される、といった理由が考えられる。

一言コメント

「尿酸結晶があると乾癬の皮膚・関節の炎症を増悪させる可能性があるとのこと。痛風結節のある患者に乾癬が多いという印象はないが、注意しておこう。」